

Acueil News

アクイール ニュース

令和2年 4月号 (第74号)
編集・発行
特別養護老人ホームアクイール
広報委員 担当 服部
我孫子市岡発戸1498
☎04-7165-6511

コロナウイルス感染予防について

春暖の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、施設運営に対し、多大なるお力添えを賜り、心よりお礼申し上げます。

一月中頃より、コロナウイルスに関する報道が連日連夜なされ、二月二六日より、ご家族の面会制限をさせていただきました。その後、四月七日に千葉県をきむ一都七県に緊急事態宣言が発出され、一気に感染リスクが高まってきたことを国民一人一人が自覚してきたところであり、ます。

入居者の方々は、毎日テレビでコロナウイルスの動向を気にされ、ご家族のことを心配されています。「面会制限のお願い」の手紙にも書かせていただきましたが、高齢者や持病のある方においては、このウイルスに罹患すると重篤な状況に陥る可能性が高くなります。そうでない方でも「効く薬」がないため、重症化してしまうこともあります。

入居者を、このウイルスから身を守るために、今が重要な時期であるのは、周知のとおり。利用者もご家族と会えない期間がいつまでなのか？先が見えない不安を抱えていることも職員は十分理解をいたついで、健康管理と心のケアをしております。

利用者ご接する職員も、自身と家族の健康に留意しながら、万全の態勢で利用者の生活のお手伝いをさせていただきますので、ご理解、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

ご家族の皆様、くたくたでもご来院くださいますようお願い申し上げます。

施設長 渡邊 豊

《実施している具体策について》

【職員の取り組み】

- ・職員は各自出勤前に体温を計測し、発熱等の症状が認められる場合は出勤を行わないことを徹底しています。出勤時は手洗い・うがい・アルコールによる手指消毒、出勤後は各部署の検温表へ記録を行い、看護師によるチェックを行っています。過去に発熱等の症状が認められた場合においては、解熱後 24 時間以上が経過し、咳などの呼吸器症状が改善傾向となるまでは出勤を行いません。
- ・職員が感染源となることがないように、症状がない場合であってもご利用者と接する際はマスクを着用し、※標準予防措置の徹底を行っています。食堂や詰所、会議の場においては他職員との一定の距離を保つようにしています。
- ・出勤時以外においても、不要不急の外出は極力控え、健康管理には万全を期しています。

【消毒・清掃に関して】

- ・共有スペースのテーブル・イス・手すりやドアノブを、毎日次亜塩素酸ナトリウム液で清拭後乾燥させています。トイレ内便座等の共用部分は、一人使用後に消毒用エタノールにて清拭しています。 ・定期的に換気の実施を徹底しています。

【施設への立ち入りに関して・他】

- ・ボランティア様の訪問、マッサージ業者の訪問の休止。 ・委託業者等の物品の受け渡しはマスク着用の上、玄関等での限られた場所にて行い、施設内に立ち入る場合は体温を計測してもらい、発熱が認められる場合は入館をお断りしています。 ・ご利用者の外出レクリエーション・イベント等は極力控えさせていただきます。 ※標準予防措置（スタンダードプリコーション）～医療・ケアを提供するすべての場所で適用される感染予防策のことです。感染症の有無に関わらず、あらゆるご利用者・患者様に対して普遍的に適用され、「汗を除くすべての血液、体液、分泌物、損傷のある皮膚・粘膜は感染性病原体を含む可能性がある」という原則に基づき、手指衛生や、個人防護具（マスクや必要な場合のガウン他）の着用など感染リスクを減少させる予防策を示しています。

新任職員紹介

新年度を迎え、アクイールに新任職員の入職がありましたので紹介させていただきます。面会を制限させていただいている中、直接のご挨拶の機会がなく大変申し訳ありませんが、現在大切なご家族のお手伝いをさせていただいている職員のことを、少しでもお知らせできればと思います。他、若干の施設内異動もありましたので合わせてお知らせいたします。

宇田川崇職員 多床室主任



デイサービスより異動となりました。以前勤めていた動物園が閉鎖になったときに、医療のことを勉強したいと思い、看護師さんと働ける職場を探していたのが福祉の仕事を始めたくっかけでした。今では天職と思っています。「1日でも元気で長生きしてもらいたい」そのためにできることを最大限行っていきたくと思っています。よろしくお願い致します。

高木恵子職員 2階わたぼうし



人の役に立ちたい！と思いこの仕事を選びました。「人に好かれる性格だね」とよく言われます。飾らずに心をオープンにして人と接することを大切にしてきました。人生の大先輩と接する介護職というこの仕事でもそのスタンスを大事にしていきたいと思っています。

酒寄雅之職員 2床多床室



父親の介護が必要になり家族で関わるようになったことから転職を機に、この業界に興味を持ち仕事をするようになりました。ご利用者個々に寄り添った細かな対応をすることを心がけています。快適な生活のお役にたてるようがんばっていきたくと思っています。

浅井美紗子職員 多床室



4月から入職した浅井です。10か月の男の子がいます。仕事も子育ても頑張ります。いつも笑顔で、ご利用者に安心していただけるよう接していきたいと思っています。

安彦光恵職員 1階ゆうぜん



皆さんの仲間になりました安彦（あびこ）です。ご利用者と職員さんと楽しい時間を過ごしたいと思っています。未永く、よろしくお願い致します。

林良枝職員 1階こまち



去年の7月まで京都在住で我孫子に娘と移住してきました！介護の仕事に就くまではタクシー乗務員をしていました。ご利用者とたくさんコミュニケーションをとり介護の事をたくさん勉強していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

大沼岳人職員 1階しずくユニット勤務

自分の親が祖父の介護をしている姿を見て自分も何かできないかと思ったのがこの仕事をめざしたきっかけです。大学では社会福祉を専攻しました。こちらで基本技術や知識を学び、皆さんのお役にたてたらと思っています。資格取得も目指したいです。（写真は恥ずかしいので・・・すいません）

秋森美谷職員 多床室



1年間他施設での経験があります。まだわからないことだらけですが、積極的に取り組み、早く仕事に慣れたいと思います。そして利用者様に常に目を配り「幸せ」と思ってもらえるような介護がしたいと思っています。よろしくお願い致します。

【施設内異動】

飯塚優子職員 わたぼうし→こまちユニット

宮本真理子職員 ゆうぜん→多床室

斉藤学職員 こまち→てまり

それぞれ異動となっています。今後ともよろしくお願い致します。